オアシス

文責：副学長
桑 原 雅 次

出雲芸術アカデミーだより　２０２０年５月２６日発行　第２５号

新型コロナウィルスの感染拡大を受けて全国で緊急事態宣言が発せられ、２ヵ月近くが経過しました。その宣言も新型コロナウィルス感染が収束の傾向が見え始め、ようやく解除に至るまでになったところです。しかし解除といってもいつ再発するかわからない状況下に油断を許さない緊張感が続くことになりそうです…。

本来なら、本アカデミーも２０２０年度の入校式も終え、順調に各講座もスタートしているところでしたが、ご承知のとおり今年度は初めからすべての事業が中止に追い込まれている状況です。しかし、いつまでもネガティブ思考では前進することはできませんので、１歩でも前に進むべく対策を講じ、６月の講座開講を目指しているところです。

今回の新型コロナウィルス感染拡大で思うことは、平穏な日常生活がいかに幸せなことであるかを気づかせてくれたことであり、１日も早い収束を願うばかりです…。

◎ ６月の講座開講を目指して！

本アカデミーでは、講座を開始するにあたって小中学校の動向を一つの基準としています。出雲市では、先週の月曜日（１８日）から小中学校が通常の登校となり、県立高校も今週の月曜日（２５日）から平常通りとなりました。これらのことを踏まえ、本アカデミーも６月開講を決断することになりました。開講するにあたっては、特に「本科」は子ども達が在籍していますので、細心の注意を払うことが重要であると関係者一同思うところでした。最初に行ったのは、保護者へのアンケートでした。９３名中７０名の方から回答を寄せていただきました。

▼６月から開講できた場合の問いに対して
　＊開講場所に通学して受講したい＜８１．４％＞
　＊開講場所に通学しての受講を控えたい＜１８．６％＞
※開講を期待する意見の中でも「合奏や合唱など密集する状態は不安」、「通常の講座ではなく柔軟な対応をしてほしい」などの要望がありました。

これらのアンケートも参考に、関係者会議等で協議を重ね、次のように対策を講じ６月からの講座開講を目指すことといたしました。

① **共通**（全受講生）♫♫♫

・「座学」「個人レッスン」「歌唱」の内容を部屋に分かれて行う。（各部屋には透明ビニールカーテンの設置）

・全体合唱は行わない。「歌唱」は、十分な感覚をとって、パートは少人数で行う。（当分の間、歌唱は行わずハミング程度とする）

③ **弦楽器入門**♫♫♫